

リニューアル: SilentDefense がeyeInspectに生まれ変わりました

正確性

数千種類におよぶOT固有の脅威インジケータと強力な機械学習ベースの異常検知機能で、資産のベースラインを作成し、ネットワークを防御

有効性

プロアクティブなリスク評価、脅威検知、業務への影響測定、修復タスクの優先付け

信頼性

セキュリティツールとコンプライアンス統制が正常に動作していることをリアルタイムで保証

効率性

時間のかかるコンプライアンス/リスク評価を自動実行し、人為ミスの最小化と効率化を推進

eyeInspect 4.2 最新情報

Forescout eyeInspect (旧SilentDefense™) は、業界をリードするForescoutプラットフォームのデバイス可視化、分類、プロファイリング機能を、OT (オペレーショナルテクノロジー) とICS (産業用制御システム) 環境の細部にまで拡張展開します。最新版であるeyeInspect 4.2には、以下の新機能が搭載されています。

- 専用のUIとUXによるアナリスト業務に最適なワークフロー
- 資産のベースライン作成によるコンプライアンスの自動設定
- 高度なアラート統合機能による脅威対応の迅速化
- セグメンテーションによるリスクエクスポージャーの低減



可視化

ネットワーク接続と同時にデバイスを可視化

デバイスの出入りを継続的に監視

業務を止めずにリアルタイムの資産インベントリを取得



検知

多種多様なIP対応・シリアルOTデバイスを識別

デバイスとデバイスグループのベースラインを作成

継続監視と自動分類の効率を最大化

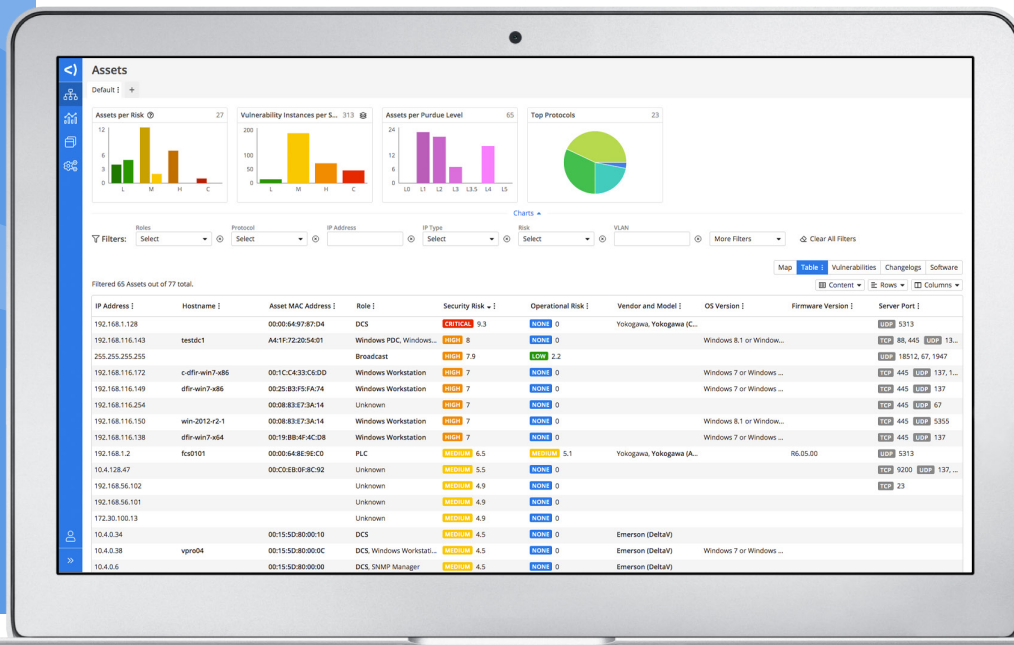


対応

コンプライアンス評価の自動化

直感的なスコアによるリスク評価

サイバーリスク、オペレーショナルリスクの状況認識



アナリスト起点のUIとUX

新たな専用ユーザーインターフェースで、マルチネットワーク環境の監視機能と実用的なインサイトを提供します。デバイスレベルまで素早くドリルダウン可能です。

- 無駄を省いたダッシュボード、使いやすいリスクフロー
- 迅速な脅威分析に役立つ攻撃チェーンの可視化
- ドラッグ&ドロップ式の言語パックによるローカライズ

資産のベースライン作成

資産のベースライン作成、ベースラインからの逸脱ケースの特定、正式な監査報告の作成により、コンプライアンスタスクを簡略化、自動化します。

- 資産または資産グループごとにベースラインと制限項目を設定
- 複数の変動要素をもとに、ベースライン違反を監視・検知
- NERC CIPその他のコンプライアンスフレームワークに則った正式レポートの作成

高度なアラート統合機能

多次元のアラート統合機能でSOCの効率を改善し、進化するサイバー脅威への対応をスピードアップします。

- アラートフィードすべてを素早く参照し、誘導
- アラートを統合し、様々なプロパティ別にピボットテーブルを作成
- トレンドの特定、リスク評価、修復対応の優先付け

OTのセグメンテーション (eyeSegment)

最新版eyeInspectは、eyeSegmentとの統合により、IT/OT融合環境およびOTネットワーク上のセグメンテーションを簡略化し、リスクを低減します。

- OTネットワークの最新ネットワークフローをベースラインとして使用
- ITからOTへのドメイン横断的な脅威によるリスクを低減
- OTネットワーク上での脅威発生時の影響範囲を縮小

オーケストレーション、セグメンテーション、コントロール

Forescoutでは、資産管理、デバイスコンプライアンス、ネットワークアクセス/セグメンテーション、インシデント対応に関するポリシーの設計/実施および自動実行を担う様々な製品スイートを提供しています。eyeInspectをこれらと組み合わせることで、相乗効果を実現します。当社のeyeSight、eyeSegment、eyeControl、eyeInspect、eyeManage、eyeExtend製品の詳細は、www.forescout.com/platform/ をご参照ください。

Don't just see it.
Secure it.™

EoT(Enterprise of Things)のアクティブ防御を支援します。今すぐお問い合わせください。

Forescout eyeInspect 4.2の一般提供(GA)開始は2020年第4四半期を予定しています。

forescout.com/platform/eyeinspect

japan-sales@forescout.com

電話番号: 81 50-1746-6455